

# あなたに薦める『この一冊』3月

『傲慢と善良』 辻村深月 [著]  
朝日新聞出版



国語教諭 澤村 大介  
高校 3年14組 副担任



皆さんは、善良という言葉聞いてどんなイメージを持ちますか？  
善いと良いが並んでいるから、いい事なんだろうというイメージを持ちますよね？  
では、善良な人とはどのような人でしょう？  
例えば、誰のどんな物言いにも反論せず、素直に言うことが聞ける人。これは、きっと善良なのだと思います。言うことが聞けるということは、発言者を信頼してその言葉を受け取ることができています。  
善良なことはもちろん素晴らしいことです。しかし、それは正しいことなのでしょうか？  
そしてもう一つ、傲慢という言葉聞いたことありますか？  
傲慢とは、高ぶって人を見下す態度のことを指します。  
皆さんの中に、傲慢さはありますか？ それはどんな傲慢さですか？  
傲慢さは誰もが持っていると思います。ただ、その傲慢さと向き合うことが大切です。  
この話は、自分の心や考え方を見つめ直すきっかけをくれる作品です。世の中には様々な傲慢さがあり、善良なことは正しいとは限らない。そんなメッセージが込められた、貴方たちの心に刺さる素晴らしい作品です。ぜひ、手に取ってみてください。

## 辻村深月 (ツジムラ ミヅキ) 豆知識

[1980~] 小説家。山梨の生まれ。「冷たい校舎の時は止まる」でメフィスト賞を受賞してデビュー。短編集「鍵のない夢を見る」で直木賞受賞。他に「ツナグ」「ゼロ、ハチ、ゼロ、ナナ。」など。

出典：JapanKnowledge Lib, デジタル大辞泉

## ★澤村 大介 (サワムラ ダイスケ) 先生の紹介★

- \*担当科目・クラス  
論理国語 (3年8組・10~15組)  
文学国語 (3年9組)
- \*星座 → さそり座 (11月11日生まれ)
- \*趣味  
パン屋さん巡り、ものを買うこと (買って満足することが多いです、)
- \*自分の中学・高校生活  
バレーボールと勉強以外をした記憶がありません。
- \*本校生の印象 → 素直でいい子が多い
- \*感動した本  
『まぐだら屋のマリア』原田マハ [著] 幻冬舎
- \*読むことが望ましい本  
『本日は、お日柄もよく』原田マハ [著] 徳間書店



## 図書館所蔵

## 同著者作品・関連図書

・『かがみの孤城』 辻村深月 [著] ポプラ社



学校での居場所をなくし、閉じこもっていたところの目の前で、ある日突然部屋の鏡が光り始めた。輝く鏡をぐり抜けた先にあったのは、城のような不思議な建物。そこにはちょうどころと似た境遇の7人が集められていた——なぜこの7人が、なぜこの場所に。すべてが明らかになるとき、驚きとともに大きな感動に包まれる。生きづらさを感じているすべての人に贈る物語。

・『サクラ咲く』 辻村深月 [著] 光文社

塚原マチは本好きで気弱な中学1年生。ある日、図書館で本をめくっていると1枚の便せんが落ちた。そこには『サクラチル』という文字が。一体誰がこれを？ やがて始まった顔の見えない相手との便せん越しの交流は、ふたりの距離を近づけていく。表題作含む3編の傑作集。



## 元ネタの本はこちら

・『高慢と偏見』 ジェーン・オースティン [著] 岩波書店・光文社

潑刺とした知性を持つエリザベスと温和な姉ジェインは、近所に越してきた裕福で朗らかな青年紳士ビングリーとその友人ダーシーと知り合いになる。エリザベスは、ダーシーの高慢な態度に反感を抱き、彼が幼なじみにひどい仕打ちをしたと聞き及び、彼の嫌悪感を募らせるが……。

編集後記：今回ご紹介いただいた「傲慢と善良」は、一昨年映画化もされた大ヒット作です。作中でタイトルに込められた意味もしっかり判明。どんなシーンでの言及なのかについては、ぜひご一読を。